☆公害による健康被害を許すな!
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!

大阪から公害をなくす会ニュース

大阪から公害をなくす会
〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19
内本町松屋ビル10 370号
TEL 06-6949-8120
FAX 06-6949-8121
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp
URL http://oskougai.com/
発行責任者　金谷　邦夫
年間購読料一部2,000円(送料共)
郵便振替 00910-7-300387

大飯原発の再稼動を許すな!

4・28関電包囲行動に600人

女神像前集会

〝福島原発事故の原因究明もまだ、収束の目途もまったく立っていないのに、大飯原発の再稼動は絶対許せない〟。4月28日昼、原発ゼロの会・大阪と大阪労連による関西電力包囲行動が取り組まれ、中之島・女神像前で集会を行った後、関西電力本社を取り巻くようにデモ行進を行い、「関西電力は大飯原発の再稼動をするな!」「野田政権は大飯原発の再稼動を認めるな!」の声をとどろかせました。この取り組み、全労連近畿ブロックも協賛団体となり、滋賀・京都・奈良など近畿各府県からも駆けつけ、600人が参加する行動となりました。

主催者を代表してあいさつに立った大阪労連・川辺和宏議長は「福島原発事故に対する国や電力会社の責任は全く果たされていません。大飯原発の問題は、全国の原発再稼動の突破口にするのがねらい。だからこそ大阪と関西の力で、大飯原発の再稼動をさせず、日本から原発をなくす大きな運動をすすめよう」と強調しました。

日本科学者会議の岩本智之氏は情勢報告を行い、ストレステストで〝安全〟が確認されたといっても、コンピューターのシミュレーションのみの検討であり、実物の検証もないなど、大飯原発再稼動容認の問題点を指摘し、また、滋賀からかけつけたばいばい原発・守ろうびわ湖住民運動連絡会事務局長の森しげきさんは「近畿1450万人のいのちの水源・びわ湖は何としても放射能に汚染させない、滋賀県民はこの決意でこれからも皆さんと連帯して頑張ります」と決意を語りました。

関電前を行進する参加者

集会には福井の原発問題住民運動連絡会からもメッセージが寄せられ、「おおい町内でも再稼動の是非をめぐり世論が変化してきている。テレビで町民が公然と『再稼動には反対』と語り、マスコミの世論調査でも再稼動に慎重な意見が5割近くに上っている。みなさん、今こそ大きな世論形成を」と訴えました。全労連常任幹事の盛本達也さんも駆けつけ、連帯のあいさつをしました。

5月17日~18日
「いっせい大気汚染(NO_2)測定」準備すすむ!

4月29日(日)朝から、民医連会議室に34団体・72名が参加して、5月17日(木)実施の大気汚染測定用カプセル12,000個づくりを行いました。ピンセットを使ってのろ紙入れ作業は、最初戸惑いもありながらスタートしましたが、20~30分もすると慣れてきて予定時間を大幅に短縮してろ紙入れ作業は完了できました。

各地域団体では、メッシュ毎の測定場所・担当者分担・カプセル番号付・健康アンケート実施・カプセル配布回収の体制・財政など実施日にむけて着々と準備がすすめられています。

今後の日程は以下のようになっています。

○5月17日(木) 午後6時
カプセル設置
○5月18日(金) 午後6時
カプセル回収
○6月3日(日) 午前10時~
カプセル分析作業
(会場=耳原旭ヶ丘会館)